

# 季刊 映画研究 全3巻

## 電子書籍版

1941年7月～1942年12月、戦時統制下、唯一の映画研究誌。「武器としての日本映画」を志向した映画研究の問題と全体像が明らかに。

### 【本書の特色】

#### ● 戦時統制下唯一の映画研究誌

日中戦争下の第一次映画雑誌統制で、100誌近くあった民間発行の映画雑誌が7誌に整理された際に、唯一の映画研究誌として誕生。発行は1941年7月から1942年12月まで、戦時下日本における映画研究の問題とその全体像を把握できる。

#### ● 理論家から実践者までの多様な執筆陣

編集兼発行人の滋野辰彦をはじめシナリオ研究十人会のメンバーの北川冬彦、飯田心美らを中心に、今村太平、長江道太郎、飯島正といった映画理論家、批評家や、伊丹万作、宮島義勇、三木茂ら映画人などの豪華執筆陣。

#### ● シナリオ論、映画演出などを詳細に記述

シナリオ論や映画論、漫画映画論やモンタージュ論、映画演出の詳細まで考察しており、シナリオ研究十人会の目的であった「日本映画向上のためのシナリオ革新運動」や、執筆者たちの“問題意識”が戦時下にどのように変わっていったのかが如実にわかる。

#### ● シナリオ論、映画論、映画研究を通史的に概観

既に復刻されている『シナリオ研究』や『映画科学研究』とあわせて読むことで、日本映画の草創期から戦中期までをとおしたシナリオ論、映画論、映画研究を通史的に概観する視野を得られるとともに、映画人たちが、武器としての日本映画の向上を志向するに至った過程をも理解することができる。

#### ● 最終巻末に詳細な解説と解題・総目次を附す

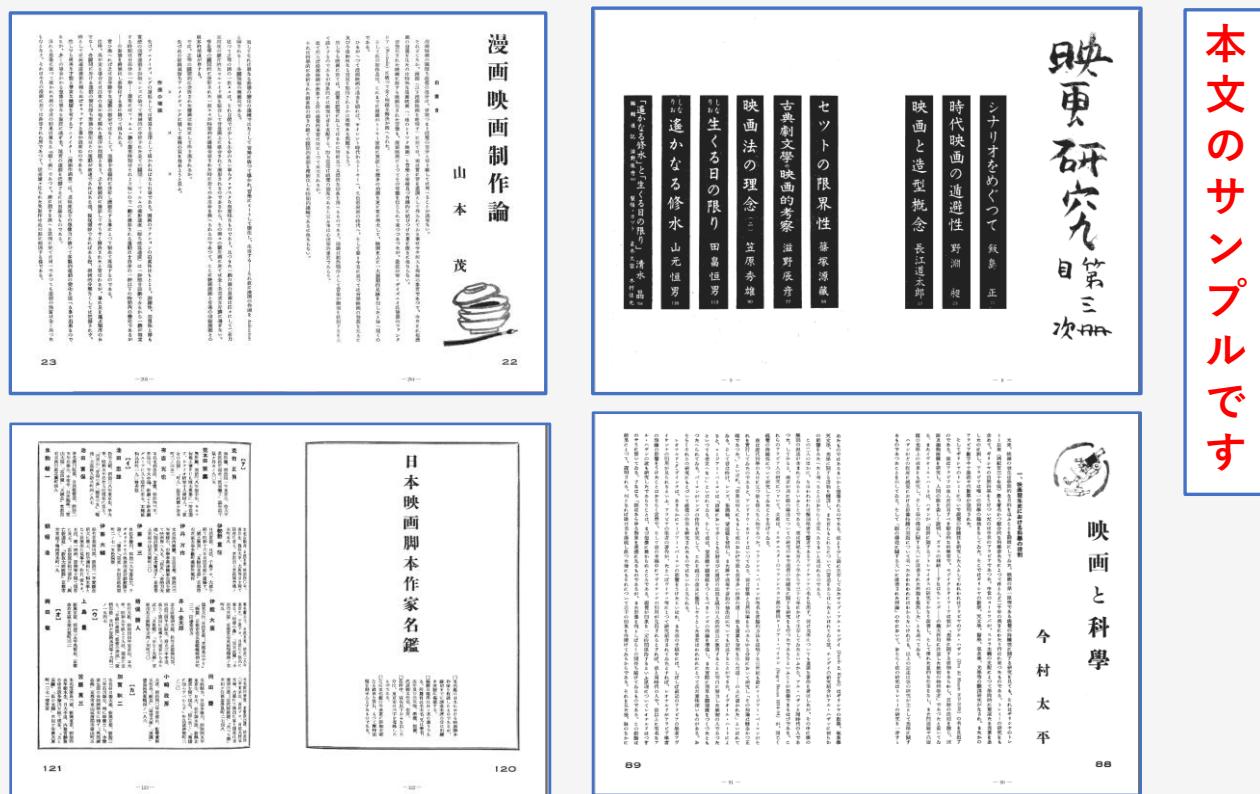
第3巻の巻末に詳細な解説と解題・総目次を附した。



電子書籍 同時刊行予定!!  
販売元: Kinoden・Maruzen eBook Library  
ISBN: 978-4-86309-001-1  
価格: ¥1,500+税  
「武器としての日本映画」を志向した  
映画研究の問題と全体像が明らかに。

全3巻

ProductID	書籍-タイトル	書籍-巻次・年次	書籍-シリーズ名	プリント版出 版年月	「同時アクセス数1」の販売価格(本体価)	「同時アクセス数3」の販売価格(本体価)
KP00089462	季刊 映画研究 第1冊（1941年7月）／第2冊（1941年12月）	第1巻	季刊 映画研究	202310	¥27,500	¥55,000
KP00089463	季刊 映画研究 第3冊（1942年4月）／第4冊（1942年8月）	第2巻	季刊 映画研究	202310	¥27,500	¥55,000
KP00089464	季刊 映画研究 第5冊（1942年12月）／解説・解題・総目次	第3巻	季刊 映画研究	202310	¥22,000	¥44,000



本文のサンプルです

## 関連タイトルのご案内（価格は本体価格です）

### ●文化映画研究 全5巻揃販売価格

同時アクセス1 ¥86,900 同時アクセス3 ¥173,800

### ●映画芸術研究 全9巻揃い販売価格

同時アクセス1 ¥204,600 同時アクセス3 ¥409,200

### ●日本戦前映画論集（ProductID:KP00027007）

同時アクセス1 ¥10,560 同時アクセス3 ¥21,120